

生物科学専攻後期

専門科目(平成27年度以降)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AU226	系統分類・進化学セミナーE11	2	1.5	3	秋ABC	応談		石田 健一郎, 本多正尚, 和田 洋, 庄子 晶子, 出川 洋介, 中野 裕昭, 中山 剛, 八畑 謙介, 守野 孔明, 白鳥 峻志	分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU235	生態学セミナーE1	2	1.5	3	春ABC	応談		徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アゴスティアーニ シルバン レオナー ジョージ, Harvey Benjamin Paul	実験生態学や野外生態学、理論生態学的手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU236	生態学セミナーE11	2	1.5	3	秋ABC	応談		徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アゴスティアーニ シルバン レオナー ジョージ, Harvey Benjamin Paul	実験生態学や野外生態学、理論生態学的手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU237	生態学講義I	7	1.5	3	春ABC	応談		徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 佐藤 幸恵, アゴスティアーニ シルバン レオナー ジョージ	個体(生理、行動)、個体群、群集、そして生態系など、様々なレベルにおける生態学の実験、観察方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU238	生態学講義II	7	1.5	3	秋ABC	応談		徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 佐藤 幸恵, アゴスティアーニ シルバン レオナー ジョージ	個体(生理、行動)、個体群、群集、そして生態系など、様々なレベルにおける生態学の実験、観察方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU275	ゲノム情報学セミナーE1	2	1.5	3	春ABC	応談		中田 和人, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希, 原田 隆平	遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU276	ゲノム情報学セミナーE11	2	1.5	3	秋ABC	応談		中田 和人, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希, 原田 隆平	遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU287	先端細胞生物学講義I	7	1.5	3	春ABC	応談		永宗 喜三郎, 松井 久典	分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能。対面
02AU288	先端細胞生物学講義II	7	1.5	3	秋ABC	応談		永宗 喜三郎, 設楽 浩志, 松井 久典	分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能。対面
02AU298	先端分子生物学講義II	7	1.5	3	秋ABC	応談		藤原 すみれ, 正木 隆, 田島 木綿子, 守屋 繁春	分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能。対面